令和7年3月

ダイキン工業健康保険組合

健保負担の胃内視鏡検査の受診･費用精算方法について

ダイキン健保は、がんの早期発見・早期治療につなげるために、がん検査（胃・大腸・子宮頸部・乳）の費用を負担しています。会社で実施している胃レントゲン検査（バリウム検査）の代わりに、胃内視鏡検査を希望される方は、下記の通り、申込み・健保への費用請求をお願いします。なお、胃がん検査は、本人希望による任意の検査です。

記

① 胃がん検査受診資格

３０歳以上のダイキン健保の被保険者（基準年齢：５０歳以上）

※検査にはデメリットもあり、胃がん罹患率が増え始める５０歳以降の受診をお勧めします。

※胃レントゲン検査（バリウム検査）のキャンセルは、各事業場・各社からの連絡文書に従ってください。

② 受診回数･申込み期間

年度に１回まで、いつでも申込み可能

③健保の費用負担の範囲

胃内視鏡検査、医師による診察・結果説明、感染症検査（医療機関によって必要）、鎮静剤（希望者）

※上記以外の費用（生体検査、腫瘍切除など）は、本人負担になります。

④受診方法

以下の２種類の受診方法があります。詳しくは２頁以降でご確認ください。

（A）日本健康文化振興会を通じて受診（検査費用の自己負担なし）

日本健康文化振興会が契約する全国の医療機関より受診いただけます（添付の医療機関リストから選択ください）。検査費用の自己負担はありませんが、鎮静剤を希望された場合の費用は検査当日にお支払いください。鎮静剤費用は、後日、健保に請求ください。

（B）最寄り医療機関で受診（立替精算）

最寄りの医療機関で検査を受けた後、健保に検査費用を請求ください。

◎なお、ダイキン健保ホームページで「胃内視鏡 医療機関リスト」の閲覧、各用紙を印刷できます。

＜受診･費用請求の手順＞

（Ａ） 日本健康文化振興会を通じて受診する場合（検査費用の自己負担なし）

1. 申込手順

① 「胃内視鏡 医療機関名簿」より希望の医療機関を選択

② パソコン・スマートフォンから「けんしんナビ」で予約、もしくは、
「胃内視鏡検査申込書」に必要事項を記入し、メール又はＦＡＸで申込書を送付

（注）検査の予約日・希望日は３週間以上先の日程で設定してください。

■けんしんナビ　右の QR コードから予約

■メール送付先　d-yoyaku@healthnet.or.jp

件名「ダイキン予約」で、必ず「開封確認の設定」をして送付ください。

■FAX 送信先　06-6305-0140

送信後、日本健康文化振興会関西事務所 06-6305-0130 に着確認をお願いします。

2. 受診手順

① 受診日が決定次第、「受診票（実施日のお知らせと問診）」が、申込書記載の住所に届きます。

② 受診日当日は「受診票」「医療機関からの案内書類」「マイナ保険証または資格確認書（R7 年 12 月１日までは健康保険証でも可）」を持参ください。

③ 費用の支払いについて

・胃内視鏡検査、感染症検査（医療機関によっては必要）：ご本人の支払いはありません。

・鎮静剤費用（希望者）：医療機関にお支払いの上、健保に費用請求ください。
健保への請求方法は、「胃内視鏡検査費用請求書」に「鎮静剤の領収書」を添付し、下記≪請求書送付先≫にお送りください。
毎月月末締め（健保着）で翌月給与支払いになります。

≪請求書送付先≫
ＤＩＬ、日本無機㈱、会津日本無機㈱の方：Ｈシ健保宛
上記以外の関係会社の方：サポートセンター肥後橋宛

・生体検査、腫瘍切除などの医療的措置を行った場合の費用は、ご本人負担（保険診療扱い）となります。医療機関に本人負担額（医療費の３割）をお支払いください。

④ 受診結果について

健診結果は医療機関から申込書にご記入いただいた住所に送付されます。通常受診後１ヵ月ほどで届きますが、２ヵ月を過ぎても届かない場合は日本健康文化振興会までお問合せください。

3. 変更・キャンセル方法について

（申込後～受診票到着まで）日本健康文化振興会関西事務所　06-6305-0130 まで連絡ください。
（受診票到着後）まず医療機関に変更又はキャンセルの連絡をし、その後日本健康文化振興会関西事務所まで電話で連絡ください。

【（A）日本健康文化振興会を通じて受診する場合のお問合せ先】

一般財団法人　日本健康文化振興会　関西事務所　　担当　伊東

〒532-0011　大阪市淀川区西中島 5-3-10　イトーピア新大阪ビル 4F

TEL　06-6305-0130　FAX　06-6305-0140

E メール：miki.ito@healthnet.or.jp

（B）　最寄り医療機関で受診する場合（立替精算）

① 最寄りの医療機関で検査を受け、検査費用を医療機関窓口でお支払いください。
検査費用は、通常自費診療１０割負担となりますが、健康保険適用の３割負担（医師の判断により治療行為として健康保険が適用された場合）でも、補助の対象となります。

② 添付の「胃内視鏡検査費用請求書」に必要事項を記入し、「領収書（宛名は受診者個人名）」「明細書（検査、費用が明記されたもの）」「検査結果の写し（医療機関から発行されなかった場合は不要）」を添付の上、下記≪請求書送付先≫にお送りください。毎月月末締め（健保着）で、翌月給与支払になります。

≪請求書送付先≫
DIL、日本無機㈱、会津日本無機㈱の方：Hシ 健保組合 宛
上記以外の関係会社の方：サポートセンター肥後橋 宛

③ 健保の費用負担の範囲は、「胃内視鏡検査費用」「医師による診察・結果説明」「感染症検査（医療機関によって必要）」「鎮静剤費用（希望者）」です。医療機関でこの範囲以外の措置（「生体検査」「腫瘍切除」など）を受け、健保に費用請求された場合は、その分の費用相当額を請求額から減額します。

【（B）最寄り医療機関で受診（立替精算）する場合のお問合せ先】

ダイキン工業健康保険組合　担当　田中

〒530-0001　大阪市北区梅田一丁目13番１号
大阪梅田ツインタワーズ・サウス

TEL：06-6147-9342　内線：7-21-3989

E メール：kenpo@daikin.co.jp

健保によくある問い合わせ

Q. 胃がん検査は受けないといけないのか？

A. 胃がん検査は任意の検査です。検査には体に負担がかかるなどのデメリットもありますので、胃がん罹患率が増え始める50歳以降の受診をお勧めします。

Q. 胃がん検査はいつまでに受けないといけないのか？

A. 胃がん検査は、法令で受診が義務付けられていない任意の検査のため、いつでも受診可能です。ただし、健保の予算上、年度内1回の受診でお願いします。

Q. 胃レントゲン検査（バリウム検査）をキャンセルしたいが、どこに連絡すればよいか？

A. 胃レントゲン検査（バリウム検査）をキャンセルは、各事業場・各社の健診案内連絡文書でご確認ください。

Q. 健保での費用負担の範囲は？

A. 胃内視鏡検査、医師による診察・結果説明、感染症検査（医療機関による）、鎮静剤（希望者）
※上記以外の費用（生体検査、腫瘍切除など）は、本人負担となります。

Q. 生体検査を受けたが、請求額が分からない。どう請求すればよいか？

A. 領収書の金額（全額）を記載のうえ、明細書を送付ください。検査額の費用相当額を健保で減額します。

Q. 検査費用が10割負担ではなく、健康保険適用で3割負担となったが請求できるのか？

A. 医師の判断により3割負担となった場合も健保に請求できます。

以上